

(2) 情報教育の推進体制

情報教育分掌担当者の役割

- ・ 生徒や教師の実態把握
- ・ 情報教育の全体計画・年間指導計画の作成
- ・ コンピュータやネットワークの管理
- ・ ソフトウェアの管理
- ・ コンピュータ教室の利用調整
- ・ 校内研修・研究計画の立案
- ・ 校外組織等との連絡調整

(3) 技術・家庭科における「情報とコンピュータ」の年間指導計画

「情報とコンピュータ」と各教科や総合的な学習の時間との密接な連携を図る必要がある。ここで学習した知識やコンピュータ利用技術を、各教科及び総合的な学習の時間の中で生かし、情報活用能力を高める工夫が必要である。

指導事項の(1)～(4)は必修，(5)，(6)は選択必修で，本校は(5)を履修させた。

年	時数	学 習 内 容	指導事項	指 導 上 の 留 意 事 項 等
1 年	2	生活とコンピュータのかかわり 情報手段の役割と情報化が社会などに及ぼす影響と情報モラル	(1)アイ	・「情報とコンピュータ」のオリエンテーションと，実例を示しながら，情報モラルの必要性を指導する。
	3	コンピュータの構成と機能・操作	(2)ア	・コンピュータの5大装置の概略を指導する。
	(1)	コンピュータの基本的な構成と機能，操作	(2)イ	・アプリケーションソフトとOSのはたらきについて指導する。
	(2)	ソフトウェアの機能	(3)ア	・コンピュータが生活の中でどのように使われているか考えさせる。
	10	コンピュータの利用	(3)イ	・キーボード入力の方法を指導し，以後毎時間授業の始めに練習させる。
	(1)	コンピュータの利用形態	"	・簡単な自己紹介の文書を作成させる。
	(1)	タッチタイピングとキー入力	(4)ア	・画像ファイルの種類について指導する。
2 年	(4)	日本語ワードプロセッサ	(4)イ	・Web ページの検索をさせ，情報を利用する上で必要な情報モラルについて指導する。
	(2)	図形処理ソフトウェア	"	
	(2)	インターネット上の情報利用と情報モラル	(2)ア	・CPU，ROM，RAM のはたらきを指導する。
	14	コンピュータの利用	(3)イ	・合計，平均などの関数に触れ，簡単なグラフをつくる程度とする。
	(1)	パソコンが動くしくみ	(3)イ	・教師自身の自己紹介のプレゼンテーションを見せ意欲の喚起を図る。
	(2)	コンピュータ内部のはたらき	(5)アイ	・イメージスキャナやデジタルカメラの使い方，及び画像の処理法について指導する。
	(10)	プレゼンテーションソフト ・基本プレゼンの制作と工夫 ・プレゼンテーション画面の工夫 ・画像の取り込みと処理 ・ワープロ・表計算ソフトや Web ページの利用 ・発表会（相互評価）	(4)イ	・LANを使ってお互いの作品を鑑賞する。
3 年	6	情報通信ネットワーク	(4)ア	・コンピュータだけでなく，携帯電話等の利用についても触れる。
	(1)	情報の伝達方法の特徴と利用方法	(4)イ	・メールの送受信を通して情報の収集，判断，処理，発信等を学ばせる。
	(4)	インターネットメールの利用	(4)ア	・今後の展望についても触れる。
	(1)	インターネットを中心としたネットワークの歴史		
3 年	7	音声・映像を中心のマルチメディア学習	(5)ア	・マルチメディアソフトを活用した学習を予定している。（現在は移行措置中のため指導していない）
	(4)	音声・映像を中心とした利用方法	(3)イ	
	(3)	表現や発信	(5)イ	
	1	学習のまとめ		

指導事項の欄は，参考資料2（中学校）の技術・家庭の指導事項（P 39 - 40）を参照。